

2 個別事業評価調書

団体名:伊根町

事業名		生活安全道改修舗装事業					
事業の概要		伊根町平田の通称大浦地区内には背後地(府道)より流れる幅員1mの水路があり、海まで至っている。当該水路は縞鋼板の側溝蓋がかかっており、里道として地域住民が利用している。この縞鋼板が経年劣化(腐食)により危険な状態となっていたため、特に重要と考えられる区間(民家沿いL=52m)をコンクリート製の床版により舗装し、交通の安全を図るため、事業を実施する。					
		主な工種 床板工 49.2㎡ コンクリート舗装工 21.0㎡					
		事業期間	平成20年10月24日～平成20年12月26日				
		総事業費	1,092	本年度事業費	1,092	交付金交付額	409
事業評価	事業の必要性	伊根町平田の通称大浦地区内には背後地(府道)より流れる幅員1mの水路があり、海まで至っている。当該水路は縞鋼板の側溝蓋がかかっており、里道として地域住民が利用している。この縞鋼板が経年劣化(腐食)により危険な状態となっていたため、交通の安全を図る必要があった。					
	事業の有効性	特に重要と考えられる区間(民家沿いL=52m)をコンクリート製の床版により舗装し、住民の安全な往来が可能となった。					
	事業の効率性						
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果 里道周辺住民の安全な往来が可能となった。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。